



バンコク便り



1. はじめに

10月23日はチュラロンコン大王（ラーマ5世）が崩御された日となり祝日となっています。プミポン前国王の祖父、ワチラロンコン国王の曾祖父にあたるチュラロンコン大王は奴隷制度の廃止や、教育制度、電話事業開設など国の近代化のため多くの功績を残されたそうです。今でも多くの国民から慕われており、チュラロンコン大王記念日には献花など特別な式典が行われます。

2. 当地ビジネス情報

(タイでの健康志向の高まりについて)

近年のタイは健康志向が高まっており、2019年10月からは砂糖を含有する飲料に対する物品税の税率が引き上げられました。同政策は2017年から施行されていましたが、各清涼飲料メーカーに新商品開発のための猶予が設けられ2019年、2021年、2023年の10月に3段階で税率を段階的に引き上げることが規定されています。

世界保健機構（WHO）のガイドラインでは、1日当たりの砂糖摂取量が小さじ6杯分と推奨していますがタイ人はその4倍以上摂取しているとも言われており、このような肥満防止や健康促進を目的とした政策導入に繋がったといえます。今後タイ政府では砂糖だけではなく、食品の塩分含有量に応じた課税を検討しているとの報道もあり、飲食料品関係者の注目が集まります。

こうした健康志向が高まる中、タイでは毎年9月末から10月上旬頃にかけて、菜食週間（タイ語：キンジェー）のイベントが行われました。主に中華系タイ人の間で行われていましたが、現在ではタイ全土に広がり、期間中は身を清めるため、肉、牛乳、卵やナンプラーなど味の濃い調味料などを避けます。小職のオフィスの近くにもある日系外食チェーンの大戸屋でも「齋（=ジェー）」と書かれた旗やポスターなどが掲げられ、菜食メニューが提供されていましたが、普段食べなれていないため物足りなさを感じました。上記のような健康志向の高まりやキンジェーの盛り上がりなど、タイの商習慣を皆様のビジネスチャンスに結び付けて頂くべく情報フォローして参ります。



柱に飾られた「齋」の旗



菜食期間中の中華街の様子

砂糖を含有する飲料に対する物品税額（1リットル当たり）（単位：パーツ）

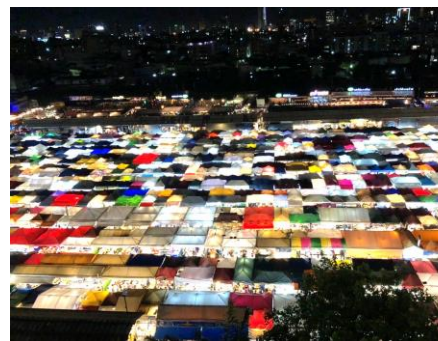
飲料100mlに対する砂糖含有量	2017年9月16日～ 2019年9月30日	2019年10月1日～ 2021年9月30日	2021年10月1日～ 2023年9月30日	2023年10月1日～
6g以下	0	0	0	0
6g超8g以下	0.1	0.1	0.3	1
8g超10g以下	0.3	0.3	1	3
10g超14g以下	0.5	1	3	5
14g超18g以下	1	3	5	5
18g超	1	5	5	5

出所：ジェトロバンコクホームページ

3. 現地トピックス

(バンコク市内の観光スポット)

バンコク市内の観光スポットと言えば、王宮やワット・ポーなどの3大寺院が有名ですが、その他にもインスタ映えすると言われているスポットがあります。当地旅行会社でもフォトジェニックツアーを催行するなど、天井の絵画が神秘的な「ワット・パクナム」やカラフルなテントで有名なナイトマーケット「ラチャダー鉄道市場」では多くの日本人観光客を見かけます。タイ政府観光庁ホームページ（<https://www.thailandtravel.or.jp/>）でも観光情報を数多く紹介しており、旅の目的に合わせたモデルプランの掲載など、初めてタイを訪れる方は勿論、リピーターの皆様にも非常に参考になるものと思いますので、ご訪タイ前には是非ご覧になられることをお勧めします。



ラチャダー鉄道市場

【本件に関する連絡先】 地方創生部 海外業務G 石井・高橋・榎 023-626-9050

【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム（在バンコク）